

教 科	科 目 名	単位数	学年	学科またはコース	履 修
農業	農業土木施工	2	3	食料環境科(環境系)	選 択

科目のねらい	① 農業土木工事の諸工法について、基礎的な知識と技術を理解する。 ② 最も多く用いられているアスファルト舗装とコンクリート舗装について学ぶ。 ③ 工事の管理や法規を学び、2級土木施工管理技術検定（筆記）の国家試験合格を目指す。				
使用教材など	教科書「農業土木施工」（文部科学省）				

期	月	時数	学 習 内 容	学習のポイント
一 学 期	4	23	第2節 土工	● 農業は軟弱地が多いので軟弱地盤対策工を理解する。 ● 諸工事の進め方とそれにあつた工法について理解する。 ● コンクリート工の基礎的技術を理解する。 ● アスファルト舗装工を理解する。
	5		第6 法面保護	
	6		第7 浚渫・埋め立て	
	6		第8 軟弱地盤対策	
二 学 期	8	31	第3節 コンクリート工	● 農業土木施工における植栽工事の計画と施工、管理について理解できる。 ● トンネル工事の各種工法と掘削について基礎的知識と計算、技術面の説明ができる。 ● 支保工について、理解できる。 ● 農業土木施工における工事の運営管理について、意欲的に取り組んでいる。 ● 2級土木施工管理技術検定（国家試験）を受験する。（10月）
	9		第4節 道路工	
	10		第5節 道路工	
	11		第1 アスファルト舗装	
	11		第2 コンクリート舗装	
			第4 排水路の施工	
			第5 橋梁	
			第6節 植栽工	
三 学 期	12	9	第4章 土木関連法規	● 農業土木施工における工事の運営管理の方法について理解できる。
	1		第1節 労働基準法	
			第2節 労働安全衛生法	

観点	a 関心・意欲態度	b 思考・判断・表現	c 技能	d 知識・理解
観 点 の 趣 旨	身近な土木構造物に対して関心を持ち、施工について疑問を自ら見出すことができる。	土木施工に対する疑問を常に持ち、自ら解決しようとする姿勢が見られる。	コンクリートやアスファルトの打設技術を習得し、手順に従って施工することができる。	土木施工に関する幅広い知識を身に付け、状況にあつた施工方法が選択できる。
評 価 方 法 主 たる	授業態度 ノート・プリント（記述点検）	行動の観察	コンクリート工 アスファルト舗装	定期試験 小テスト

上記観点に基づき、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。

評価項目・学習にあたって・評価点		
①定期テスト	1年に5回実施。普段の授業や課題に集中して取り組み復習して下さい。	70点
②ノート・プリント提出	授業中の板書を丁寧な字でちゃんとノートにとっていること。また、配布されたプリントを丁寧にまとめていること。これらを、定期テスト毎に点検するので、期限まで提出すること。	15点
③実習・授業態度	授業中に興味をもって聞き、しっかりノートを取ること。また、実習時は実習着を正しく着用し、集中して取り組むこと。授業中に質問し理解しているか確認するので答えられること。	15点